							正正洲/	尹夜叶叫音								_	P. 风 Z 9 午 .	2 T 3 H
計画の					賃環のみち													
計画の			平成23年	三度 ~	平成27年	三度 (54	年間)	交付対	才象	青森県平内町								
計画の																		
	下水道施	設整備を	:行い、安	全・安心	、快適な	くらしを	:実現し、	良好な環境を創造する。										
計画	の成果目	標(定量	的指標)															
	①下水道	[処理人口	普及率を	28% (23	3年度当初	J) から 3	30% (27	年度末)に増加させる。										
定量的指標の定義及び算定式							定量的	指標の現況			/#: #z.							
									当初現況値	中間目	標値	最終目	目標値		備考			
									(H23当初)	(H25	末)	(H27	7末)					
1	下水道処	理人口普	及率															
_			きる人口	(人) /	/総人口	(人)			28% 28%		6	30%						
				,														
					O.	72百万円		896百万円 0	百万円	76百万円	効里促進 重	***	~			7. 8%		
	体事業費		_	·計	9	12日 <i>万</i> 口	Α	890日77日 B				効果促進事業費の割合			7.8%			
(※上段	計画 下	交 夷額)	(A+1)	B+C)	824.	61百万円			百万円	74.82百万円	C/ (A-	C / (A + B + C)		9. 1%				
								•	<u> </u>									
								事後評価	(中間 割	平 価)								
○事後評	価(中間	評価)の	宝施体制	宝施時	:			, DX 8.1 1000	() 1/3 /	, Ileas								
				70,000	793				事後評	価(中間評価)の実	施時期	l						
事後評価(中間評価)の実施体制 事後評価(中間評価)の実施時期 事業終了後(平成29年1月) 事業終了後(平成29年1月)																		
	亚内町批	1 献敕借詛	はないて	宇宙					公表の:	方注		1	于木心	IX (TIX	2 3 7 1)1)		
平内町地域整備課において実施 公表の方法 一・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・								7 IA		1	正内町士	- L~-	ジにて公	丰				
													₩1 W	4.1	7 K C Z	10		
1. 交付	計	の進歩出	->□															
		沙進抄仏	.化															
交付対象																		
A1 道路		114 1-45	/ 1.		1	V4- n4-	415.046	要素となる事業名		± * 4 - 5			± 316 ct+.	±-+π == /	ter etc.)			/++: - x
番号	事業	地域	交付	直接	事業者	道路	省略 工種	安系となる事業名 (事業箇所)	(3	事業内容	市町村名	1100		,,,,,,	年度)	HOF	全体事業費 (百万円)	備考
	種別	種別	対象	間接		種別	上作	(争来固川)		延長・面積等)		H23	H24	H25	H26	H27		
A1-1-1	下水道	一般	平内町	直接	-	分流	新設	平内第3号汚水幹線系統(幹線・枝線))	150~200mm L=890m	平内町						55	
									汚水管 (0 150∼200mm L=888m							54. 08	
A1-1-2	下水道	一般	平内町	直接	_	分流	新設	平内第1号汚水幹線系統(枝線)		150~200mm L=2,810m	平内町						238	
										150~200mm L=3,034m							242. 42	
A1-1-3	下水道	一般	平内町	直接	-	分流	新設	平内第2号汚水幹線系統(枝線)		150~200mm L=2,820m	平内町						189	
		///	,			2.00	/ 1905			150∼200mm L=2,835m							180. 87	
A1-1-4	下水道	一般	平内町	直接	_	分流	全種	調査・設計等		150~200mm L=7,870m他	平内町						272	
1	1 77 70	/s/\	1.1.350	<u></u> ⊢1×		/V 1/10	上压	BOH! Y		150~200mm L=8,422m他	1 1 4114						157. 74	
A1-1-5	下水道	一般	平内町	直接	_	分流	新設	平内第4号汚水幹線系統(幹線・枝線))	150∼200mm L=655m	平内町		T	Ţ			142	
A1 1 0	一小坦	川又	— r j™J	四7次	<u> </u>	JJ 1/1L	471 BX		汚水管φ	150∼200mm L=1,189m	— L 1₩1						114. 68	
												※上段計画	画 下段	実績			896	
											小計	(下水道事	事業)		749. 79	<u></u>		
B 関連	社会資本	整備事業																
事業 地域 なけ			交付	寸 直接 事業者 省略				面末しよっ古Ψり		事業内容	市町村名		事業実	施期間(年度)		全体事業費	備考
番号 種別		種別	対象	間接	- 事業者	工利	種	要素となる事業名	(3	延長・面積等)	港湾・地区名	H22	H23	H24	H25	H26	(TTI)	
			1															
								L	1	l			i	合計				
	ци																	

C 効果	:促進事業																			
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費	備考				
田夕					平木石					H23	H24	H25	H26	H27	(百万円)					
C-1-1	下水道	一般	平内町	直接	-	新設	平内第3号汚水幹線系統(端部枝線)	汚水管φ150mm 約 0.9 (ha)	平内町						12					
0 1 1								汚水管φ150mm 約 0.9 (ha)							11. 97					
C-1-2	下水道	一般	平内町	直接	_	新設	平内第1号汚水幹線系統(端部枝線)	汚水管φ150mm 約 1.2 (ha)	平内町						18					
012			1.127	匹皮								<i>1</i> /1 [IX	1 13/31 /3 1 3/3/4F/W/X/K/WC (SIII) EP/(X/WK)	汚水管φ150mm 約 1.2 (ha)	1 1 33					
C-1-3	下水道	一般	平内町	直接	-	-	-	-	-	新設	平内第2号汚水幹線系統(端部枝線)	汚水管φ150mm 約 1.5 (ha)	平内町						31	
	1 /// // // // // // // // // // // // /			匹汉												7/11/2	1 13/12/11/17/17/17/17/17/17/17/17/17/17/17/17/	汚水管φ150mm 約 1.5 (ha)		
C-1-4	下水道	一般	平内町	直接	_	新設	調査・設計等	汚水管φ150mm L= 780m	37 [VIII]						15					
0 1 1												7/11/2	M 五	汚水管φ150mm L= 775m	十九月四					
※上段計画 下段実績										76										
合計									74.82											

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
C-1-1	基幹事業である幹線・枝線(A1-1-1)と接続した端部枝線整備を一体的に行うことにより、普及率の向上に資する。	
C-1-2	基幹事業である枝線(A1-1-2)と接続した端部枝線整備を一体的に行うことにより、普及率の向上に資する。	
C-1-3	基幹事業である枝線(A1-1-3)と接続した端部枝線整備を一体的に行うことにより、普及率の向上に資する。	
C-1-4	基幹事業である枝線整備の調査・設計等(A1-1-4)と端部枝線整備の調査・設計等を一体的に行うことにより、普及率の向上に資する。	

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する

- ・平内第1号~第4号汚水幹線及び枝線において、面整備を行うことにより下水道処理人口普及率が増加した。
- ・計画の目標である「安全・安心、快適なくらしを実現し、良好な環境を創造する」に向けて着実に前進している。

Ⅱ定量的指標の達成状況

指標①下水道処 理人口普及率 (下水道を利用 できる人口 (人) /総人口 (人))

最終目標値 30.0% 目標値と実績値 に差が出た要因 最終実績値 32.7%

目標達成

最終目標値

最終実績値

目標値と実績値 に差が出た要因

Ⅲ定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)

3. 特記事項(今後の方針等)

平成27年度末現在、全体計画に対する面整備率は52.0%となっている。今後も面整備を行い普及率向上を図る。